

青海島に魅せられた人々 令和6年8月30日(金)～令和7年1月13日(月)

青海島は約9,000万年前の火山活動によってできた島で、洞窟や岩柱が並ぶ美しい場所です。その景色を横山健堂は「海上アルプス」と称しました。また、東山魁夷画伯によって描かれた、皇居波の間の「朝明けの潮」は青海島がモチーフとなっている作品です。

大正15年に国の名勝及び天然記念物に指定されましたが、指定前後に雄大な景色の魅力に魅せられ、広く世に伝えようとした人々がいました。今回は青海島観光の火付け役となった橋本勇一の業績なども紹介します。また、市民から寄贈を受けた青海島をモチーフにした絵画も合わせて展示します。



青海島瀬叢 (撮影：伊藤信行)

クルーズ船で行く！青海島ジオツアー

約9,000万年前のマグマの活動をクルーズ船に乗って見に行きます。コーディネーターによる解説付。

開催日時 10月13日(日) 9:20～12:00

参加料 3,500円

詳細、お申込みはナガトリップをご覧ください。



◀ <https://nagatripp.nanavi.jp/>

塚塚横穴墓群の 出土品から見えてくる 被葬者像に迫る

令和6年8月30日(金)～令和7年3月2日(日)

今回の企画展では、深川地区で見られる小山や丘陵の斜面に横穴を掘った珍しい形をした横穴墓の中でも、優れた副葬品が多数出土した『塚塚横穴墓群』にスポットをあてました。山口県指定有形文化財となっている銅製壺^{つぼ}鐘をはじめ、今回初めての展示となる大津緑洋高校同窓会所蔵の須恵器などの副葬品を展示しました。

これらの出土品から、長門一帯の支配者にとどまらず、政治的・経済的な力を持ち、中央の大和政権とのつながりがあった権力者像を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。



大津緑洋高校同窓会所蔵

萩城と瓦

令和6年8月30日(金)～令和7年3月2日(日)

長門市三隅沢江の旧吉田屋旅館に萩城に由来する瓦が伝わっています。明治初期、萩城が解体された際に当主が買い付けてきて旅館の屋根に葺いたもので、平成時代終わり頃まで使用されていました。

瓦には製作者を示す刻印が押されており、江戸時代後期頃から明治時代にかけて長門市東深川湊で瓦業を担っていた西村家の瓦が含まれていることが分かりました。西村瓦は、萩城以外にも萩市内に多く見られていたほか、西圓寺(長門市仙崎大日比)の本堂にも使用されていました。

本企画展では、旧吉田屋旅館に伝来する萩城の瓦とともに、長門市を拠点活躍していた西村瓦に焦点をあてて紹介します。



萩城で使われていた瓦

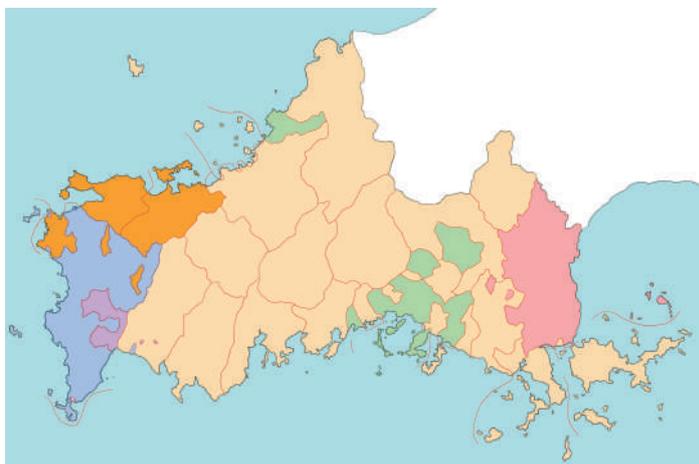
江戸時代の長門市

前大津宰判・先大津宰判関係資料を見てみよう!

令和6年8月30日(金)～令和7年3月2日(日)

江戸時代、現在の山口県(当時は周防国、長門国)は毛利氏とその一族によって治められていました。毛利本家の治める領地は宰判という行政単位で区分され、現在の長門市にあたる地域は先大津宰判と前大津宰判に分かれていました。

この展示では、毛利氏による統治の成り立ちとともに、宰判に関する史料から当時の地方支配を紹介します。



長州藩地図

計画中

古建築の専門家 ヘリテージマネージャーと行く
長門市の古建築 青海島編

長門市内に残る古い建築物を専門家とともに訪ねます。第一回は、長門市唯一の重要文化財(建造物)に指定されている早川家住宅などを訪れます。

長門市総合文化財センター

歴史のアナタと

長門市東深川 2660 番地 4 TEL 0837-22-3703 FAX 0837-22-3700

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

入館料 無料 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)



最新情報は
こちらから⇒



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ X



▲ HP

